

# 近藤通信

公明党千葉市議会  
議員団 議会報告  
No.62  
2016年 冬号



## 平成27年第4回定例会報告

近藤ちず子議員が会派を代表して代表質問を行いました！  
以下、質問の一部と市長・副市長の答弁を報告します。

### 質問・要望項目

### 市長・副市長答弁

## 市政運営の基本姿勢について

### 1. 新年度予算編成について

・どういった分野・施策に重きを置くのか。市長の考え方を問う。



### 2. 女性の活躍の推進について

・女性活躍推進法は2025年までの時限立法であり、男女が共に仕事と家庭の両立ができる職場環境づくりが重要である。

本市の取り組みと10年後のビジョンについて市長に問う。



### 3. 少子化対策について

#### ● 不育症・不妊症対策について

・これまでも要望してきたが不妊で悩む夫婦が増えている。特に不育症についての周知は十分と言えない現状をふまえ、公明党の要望で実現した「不妊専門相談センター」のPRと相談体制の充実をすべきと要望し、取り組みを問う。

・更に不妊の原因の半数となる男性の不妊治療に対する積極的な取り組みをすべきと要望する。

#### ● 出産後のケアのあり方について

・全ての出産した女性に「休養と身体的回復」・「育児に慣れるまでの支援」の体制準備が必要である。

厚生労働省提唱の「妊娠・出産包括支援事業」を早急に取り組むべきであり、本市の取り組みと市長の見解を問う。

・「地域包括ケアシステム構築」に向けた取り組みや、認知症対策の強化と共に、「待機児童ゼロ」の継続、子どもルームの対象学年の拡大等子育て世代人口の維持・増加を促進していきたい。

・千葉開府890年という節目の年を有効に活用すると共に、「海浜」・「千葉駅周辺」のランドデザインをふまえ推進していきたい。

・組織のトップが姿勢を示すことが重要であることから、先日「イクボス」の共同宣言をしたところです。

これまでも子育てしながら働きやすい職場環境の対策を講じてきましたが、女性職員の活躍に向けた課題に取り組んで参ります。そのためには、**全ての所属長が「イクボス」**として、子育てを積極的に支援し、業務効率の向上に努める職場づくりを推進します。



・不育症に対する認知は十分とは言えず、若い世代への**周知は重要**と考えています。

**28年1月の成人式を利用して啓発を図ると共に、母子手帳交付等に必要に応じて小冊子を配布し周知を図って参ります。**



・**不妊症については、平成28年度から国の制度にとどまらず、男性を対象とした不妊治療費の助成を開始したいと考えています。**

・「産後ケア事業」は、退院直後の母子に対して重点的に支援する体制を構築することを目的としています。本市では事業前に市民ニーズを把握するための調査をすすめる、**本市独自の産後ケアの支援体制の可能性を検討します。**

## 4. 超高齢社会の対応について

### ● 中期的な高齢者施策の指針について

・2025年問題を10年後に控え、待たなしの対応が求められている。中期的な高齢者指針の策定を評価するものの年度ごとのスケジュール、評価を行い実施すべき。あり方について問う。

・健康寿命延伸の為の健康増進に対する取り組みをきちんと評価して目標を達成すべき。これからの計画について問う。



### ● 認知症対策について

・平成37年には市内に約8万人と推計された認知症及び認知症予備群への取り組みは喫緊の課題。

相談から早期発見、医療との連携、地域での生活支援等どのように市民へ提供するのか問う。

・簡易判定・診断サービスや、体操・運動プログラムの開発などを積極的に取り入れるべきと要望。

## 5. 保健福祉行政について

### ● 胃がん対策について

・ピロリ菌除菌の保険適用や厚労省の内視鏡検査の導入提言をふまえ、これまでも要望してきた「胃がんリスク検査」及び「内視鏡検査」導入の検討状況について問う。

### ● 墓地整備について

・公営墓地の整備と共に、新形態墓地の建設を求めてきたが、桜木霊園合葬墓の応募状況をふまえ、市民ニーズをどのように把握し、今後の墓地行政を検討しているのか問う。



・指針の進捗管理にあたっては、評価方法を決定したうえで、スケジュールに沿って検証し報告することとしています。

原則3年ごとに見直すこととしています。

・25年度に策定した「健やか未来都市ちばプラン」をもとに健康づくりに取り組んで参りましたが、十分とは言えず、「健康寿命延伸」のための取り組みを千葉市の最優先課題としてとらえ、努力して参ります。

・市民に認知症に関する正しい知識を普及させると共に各種会合等を通じて、顔の見える関係の中で、それぞれの役割を發揮し、体制づくりに取り組んで参ります。



・専門医の意見を伺いながら、簡易判定機材の効果的な活用場所等について早期の導入に向けて調査を図ります。



・「胃がんリスク検査の試行実施」を第2次実施計画に位置付け、本年8月から関係機関と検討作業を開始しました。胃内視鏡検査を含め、費用対効果も勘案しながら総合的に検討しています。

・桜木霊園合葬墓の応募数は4206体、倍率は約5.5倍でした。今後は市民の新形態墓地の関心の高さをふまえ、平成30年度以降予定している平和公園A地区の基本設計の見直しを検討して参ります。

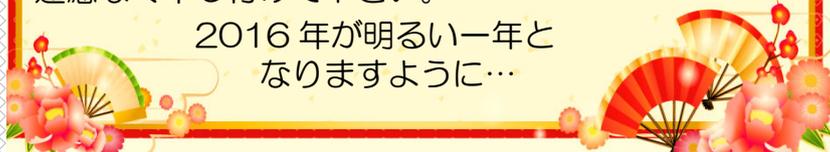
## その他の質問項目として・・・

- ★指定廃棄物問題について
- ★ビッグデータ・オープンデータの活用について
- ★文化芸術振興について
- ★子どもの参画事業について・子どもルームについて
- ★道路施設の適切な維持管理について
- ★避難所への再生可能エネルギーの導入について

- ★企業誘致の促進について
- ★千葉中央港地区について
- ★市営住宅の適正管理について
- ★花のあふれるまちづくりについて
- ★高校での主権者教育について
- ★生涯学習の振興について

代表質問は、通告時間60分！限られた紙面で全てをご報告するのは難しい状況です。疑問な点は遠慮なく申し付けて下さい。

2016年が明るい一年と  
なりますように・・・



<< 市政の相談 >>

市政に関するご意見・ご要望を  
お聞かせ下さい 近藤

TEL/ FAX 264-5956

[http://www.komei.or.jp/giin/chibacity/kondo\\_chizuko/](http://www.komei.or.jp/giin/chibacity/kondo_chizuko/)